

第20回議会報告会（令和5年6月）報告書

令和5年8月

那須塩原市 広聴広報委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第20回目の開催となった。

本年度は各委員会の改選の年であり、かつて議会内の改選があった年の5月の議会報告会は実施しなかった時期もあったが、市民との意見交換の場の喪失は議会の損失と捉え、改選前の広聴広報委員会広聴班で議会報告会の準備を進めていた。今回は、議員全員で市民と語り合えるフォーラム形式「議会フォーラム」とし、少人数のテーブルに分かれてテーマについて話し合う、ワールドカフェ方式「なしおふれあいトーク」～議会報告会及び意見交換会～として実施した。コロナ禍においても生活への影響と不安が広がる中、市民と議会との信頼関係をより深く構築し、市民の声を聴きその声を市政に反映していくため意見交換の場は必要不可欠と捉え、インターネットやオンライン、対面とオンライン両方利用したハイブリットで実施してきた議会報告会。今回は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上2類から5類感染症に引き下げられたことに伴い、4年ぶりに東那須野公民館にて対面での「議会フォーラム」が開催できたことに対して、ご参加いただいた多くの市民の皆様には深く感謝を申し上げますとともに、那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

1	第20回議会報告会実施概要	1
2	主な意見及び要望等	2
	◆テーマ1 少子化対策について	2
	◆テーマ2 社会の多様性について	4
	◆アンケート自由記入欄の意見及び要望	6
3	第20回議会報告会のまとめと考察	7

1 第20回議会報告会実施概要

開催日時	令和5年6月10日（土） 午後1時30分 ～ 午後4時			
開催場所	東那須野公民館			
参加人数	24人			
担当議員	統括	星 宏子	進行	星野 健二
	各テーブル ホスト	A 林 美幸 D 室井 孝幸 G 齊藤 誠之	B 小島 耕一 E 中里 康寛 H 堤 正明	C 星野 健二 F 森本 彰伸
テ ー マ	1 少子化対策について 2 社会の多様性について			

2 主な意見及び要望等

◆テーマ1 少子化対策について

○少子化の理由に関すること

- ・少子化になった根本的なことを調査する。

○制度に関すること

- ・育児休暇の制度はあるが、育児休暇取得率が低い。
- ・保育所の環境を整備してほしい。
- ・子育てをする職場の環境を整備してほしい。
- ・子どもを3人以上育てる家庭の大幅な所得税減税などの支援が必要。

○負担に関すること

- ・経済的将来不安から結婚や出産をためらう風潮が若者の間にはある。
- ・育児・教育に対する負担が大きい。
- ・女性が子供を産む環境にない。
- ・公園に子どものトイレがない。

○結婚に関すること

- ・昔は結婚するのが当たり前の感じ。
- ・未婚者が多いことから・結婚相談センター等の強化を進め結婚対策が必要。
- ・現在の家庭を見て楽しいと感じない。結婚に魅力を感じない。結婚しない方が楽。

○意識に関すること

- ・子育てに於いて、母親だけでなく父親ももっと関われる社会環境と父親の意識を高める。

○受け止めに関すること

- ・ 少子化・人口減少はもはや止められるものではなく、受け止める必要があるのではないか。

◆テーマ2 社会の多様性について

○意識のアップデートに関すること

- ・多様な価値観を理解すること。(価値観を点検すること)
- ・子どもの世界では多様性が当たり前。今の子どもは男女仲良し。ジェンダー分野の変化。
- ・都会（東京）と地方（栃木）で価値観が違う。
- ・多様性への無関心は良くないことなので、教育の機会を充実させる。
- ・多様性理解のため家庭や地域コミュニティの果たす役割は大きい。
- ・大企業ほど多様性に対する意識が高い。

○市民の特性に関すること

- ・日本は島国であるため、日本人のみという意識が強すぎた。これからは、受け入れる気持ちを持つことが大切である。また、共感する心、気持ちが大切である。
- ・那須塩原市は歴史的に移住者が多いせいか他所から来た人を受け入れる素養がある。本市には外国人が割と多く居るように感じるが自然と受け入れられているように思う。

○設備の問題に関すること

- ・男女別トイレの問題。

○個別の問題に関すること

- ・夫婦別姓は、まず認めてあげてほしい。その後、トイレの問題等世界の流れについていけるようにしてほしい。
- ・自治会住民の多様性がすすみ、ゴミ問題が発生している。また、自治会に入りたく

ない住民が増えている。自治会内でハラスメントが発生している。

○多様化のメリットに関すること

- ・ 多様性はイノベーションのきっかけになる。

○多様化への反対・不安に関すること

- ・ 多様性は強制ではない。
- ・ 多様性に対する考えは人さまざまであり、合意形成を図ることは難しい。
- ・ 国の法制度に於いて外国人と日本人が同じというのは難しい。

◆アンケート自由記入欄の意見及び要望

○肯定的な意見

- ・ とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 毎回思うが同じ顔が多い。新規参加者が増えるといいですね。
- ・ 議員さんが市民のために尽くしてくださっているのがとても分かりました。
- ・ 素晴らしい経験が出来感謝いたします。
- ・ 多くの方の意見が伺えて勉強になりました。機会があればまた参加したいです。ありがとうございました。
- ・ 議員さんに入ってもらったのでとてもよく話が出来たので良かった。

○否定的な意見

- ・ 市議の力量に大きな差があることを強く感じた。
- ・ それぞれのテーマに関して、問題点をあげたり分析する程度までだったのは、やむを得ないが、その先の具体的な対策まで行きつかなかったのは残念でした。(行政と議会の限界か) 受け入れ、他の道を模索することか。
- ・ 突然だったので何もない。

○要望

- ・ 討論結果の取扱いを報告いただきたい。
- ・ 特別支援学校の寄宿舎問題について多くの児童生徒が那特に通学している本市として、しっかりと取り組んでいただきたい。
- ・ 周知に工夫をしてより多くの人に参加できるように
- ・ 概要をまとめた資料を用意していただければスムーズにできたと思います。
- ・ 5、10年先の議員の意見が欲しいです。
- ・ 今回の議会だけでなく、前回何人の方に周知ができ、その内何人が来て、出た議題や議案についてどう対応でき、どんな決定になり、どう改善できたのかフィードバックをしっかりと公表して欲しいです。
- ・ 本市の子育て応援券などお金をばら撒くのではなく、又他市と横並びの政策をやるのではなく、もっと大胆な政策をして欲しい。兵庫県の加西市が子育て応援 5つの無料化を行っている。(ホームページ参照して欲しい) その為の費用は1人当たり250万円程でふるさと納税でまかっているという。本市の観光としての(自然・食・温泉・・・)集約と合わせてもっと移住しやすい施策を打出して欲しい。

3 第20回議会報告会のまとめと考察

今回の報告会を振り返るとともに、アンケート結果等を踏まえ、良かった点、改善すべき点などを整理・考察する。

(1) 実施体制について

○全議員の参加によるワールドカフェ形式で実施した

(2) 広報活動について

○ポスター掲示依頼（86施設）、チラシの班回覧

○各議員による個別の声掛け（議員1人につきポスター5枚、チラシ20枚）

○広聴広報委員会にて市内スーパー3店舗でチラシ配布を実施

（ビックエクストラ那須塩原店、ヨークベニマル西那須野店、ヨークベニマル上厚崎店）

(3) 会場設定及び参加者数について

○東那須公民館を会場とした

○参加者数は、24名となった

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66

	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
開催年月	H30.11	R元.6	R元.11	R2.2	R2.7.17~9.30	R2.11	R3.11	R4.5	R4.11	R5.6
参加者数	78	23	70	152	72	29	97	38	51	24

(4) 当日の進行について

○広聴広報委員会において進行等の関係資料を作成し、議員全員協議会を通じて全議員への周知等を行った

○2部制とし、第1部では議会報告を広聴広報委員長が行い、第2部の意見交換会については、ワールドカフェ方式を採用し実施した

○全体の進行は副委員長が行い、各グループのホスト役は広聴広報委員が担った
また、各グループにサブホスト役の議員を置き、ホストのサポートを行った

○会場設営はアイランド型とし、参加者数に合わせて1テーブル5名前後（議員を含む）のグループとして8テーブルを用意した

(ア) 意見交換テーマについて

- 2つのテーマを設定した
- 少子化対策について
- 社会の多様性について

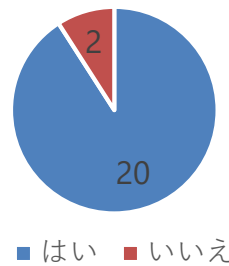
(イ) 時間の配分について

- 議会報告 約5分
- 意見交換 約2時間20分（説明、休憩、発表含む）

(5) アンケート集計結果（回答率 91% 参加者 24名 回答 22名）

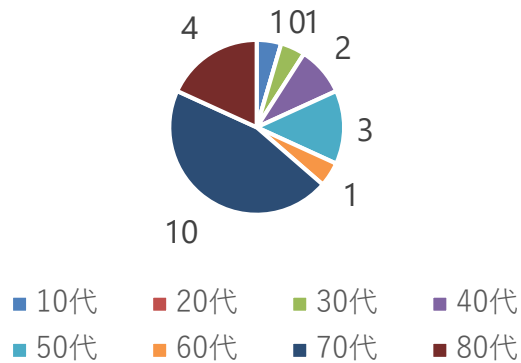
問1 那須塩原市にお住まいですか？

- はい 22名
- いいえ 2名



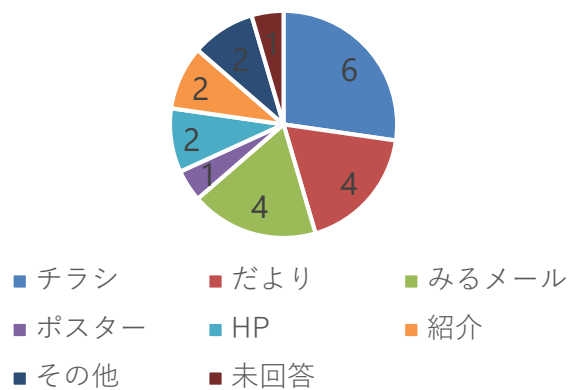
問2 年齢についてお答えください

- 10代 1名
- 20代 0名
- 30代 1名
- 40代 3名
- 50代 4名
- 60代 6名
- 70代 6名
- 80代 2名



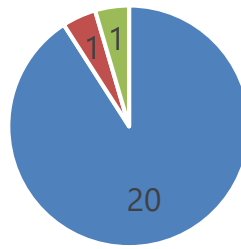
問3 議会フォーラムは何でお知りになりましたか？（複数回答）

- 各戸配布チラシ 6名
- 議会だより 4名
- 見るメール 4名
- ポスター 1名
- ホームページ 2名
- 議員・知人からの紹介 2名
- その他 2名（未回答 1名）



問4 今回の議会フォーラムの評価についてお尋ねします

- 評価する **20**名
- どちらともいえない **1**名
- 未回答 **1**名



■ 評価する ■ どちらともいえない ■ 未回答

▶理由 (○評価する●どちらともいえない)

- 世論の一端に触れることで、独りよがり防止・修正の助けになる
- 今の気になる話題に合っているから
- 色々な考え方があると認識しました
- 社会に対する意識の高い方たちのお話を多く聞くことができ良かった
- 貴重な機会です。どんどん開催してください。
- 色々な意見が聞ける
- 市民として意見を伝えられ、ともに考えられる場を感じるから
- 少子化対策、多様性についてどちらも必要です。
- テーマが難しすぎる
- 人の話を聞くことができた。自分の話も聞いてもらえた。
- 議員と話せることは良いことだと思う
- 国会でも取り上げているテーマだから。社会の多様性は難しかった
- 多くの人の会話で新しい視点が見つかった

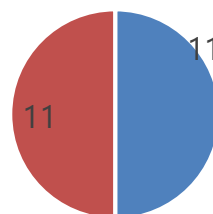
問5 議会フォーラムで取り上げてほしいテーマはありますか

▶自由記述

- 道路の整備 (全ての人に優しい道路)
- 那須塩原市の活性化
- 自治会について (古い考えの押し付けではないか)
- 住みやすい地域づくり
- 健康生活のヒント
- インクルーシブ教育
- 教員の働き方問題について
- 中高生が入ってもよいかも。未来を語る。
- 共生社会、インクルーシブ、障害者のもつ障壁等
- 子どもの教育 (部活等) の改善
- 小・中学校で学んでいる外国人が毎日困っていることがあると聞いたので、その事について
- SDGsのテーマ。市として市民として今できることは何か。

問6 また議会フォーラムが開催されることがあったら参加したいですか

- 参加したい **11**名
- 日程と時間が合えば参加したい **11**名



■ 参加したい ■ 日程と時間が合えば参加したい

(6) 市民の皆様からいただいた意見・要望について

今回の議会報告会でいただいた意見・要望等については、議会だより（8月号）にも掲載をしている。各委員会で取り扱いを決めて、今後の活動に活かして行きたい。

(7) 今後の議会報告会について

議会フォーラムについては、はじめにの部分で述べたとおり、市民との交流の場を考え、議員と市民が同じテーマで話し合える場を作るべく、前任の議会報告委員会及び広聴広報委員会全員で協議し実施を決定した。

議員全員が一堂に会し、市民と共にテーブルを囲み、ワールドカフェ方式を用いて対話する意見交換会は、参加された市民のアンケートの回答にもあったように、高評価を得ており、議員個人も意見交換で意見を述べられる議会フォーラムの手法は今後も有効な手段であると感じた。

市民との対話は、全国的に見てもどの議会でもクローズアップしており、それぞれの議会でも独自の手法で行っていると聞いている。

市民の議会へ対する関心度の向上に大きな効果をもたらすためにも、今後も新たな市民の参画を模索していくのと同時に、これまでいただいている意見を精査し、今後どのような形で取り組み、良い結果を導き出せるように、委員会で協議を重ね検討し、その結果を市民に報告できる体制の確立を目指していきたいと考える。

最後に、市民の皆様のご参加と、全議員及び事務局そして、関わられた方々に感謝を申し上げます。

